

オンライン会議 活用事例集

Zoom Rooms



- Extreme Networks 株式会社様
- 発電設備会社様
- 保証会社様
- 外資系開発会社様



VTB ジャパン株式会社

<東京オフィス>

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 第2フナトビル6階
TEL.03(5210)5021 FAX.03(5210)5022

<大阪オフィス>

〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-5-9 井門瓦町ビル5階
TEL.06(4706)3930 FAX.06(4706)3931

* 本カタログの記載内容は2024年6月現在のものです。
* 利用シーンの写真には、はめ込み画像などイメージ画像が含まれます。
* 製品の外装・仕様は、予告なく変更される場合があります。製品の詳細や仕様などについては、営業担当にご確認ください。
* 会社名および製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。



Zoomの会議に簡単に参加できる! Zoomの専用機「Zoom Rooms」

Zoom Roomsは、WindowsまたはAndroid OSを搭載した本体に、操作用タッチパネル、カメラ、マイク、スピーカーなどの映像・音声デバイスとZoom Rooms専用ライセンスで構成される会議室向け専用機です。さまざまな用途の会議室や共有スペースに設置することで、Zoomの会議を複数人で簡単に開催・参加することができます。

VTVジャパンでは、Zoom Rooms認定デバイスの中からお客様のオンライン会議環境・利用用途・ご要望をもとに、最適な製品・サービス・保守サポートをご提案・ご提供いたしますので、お気軽にご相談ください。

製品の詳細はこちら
<https://www.vtv.co.jp/product/zoomrooms/top.html>



Lenovo

Yealink

neat.

poly | hp

logicool

DTEN



インテグレーションモデル



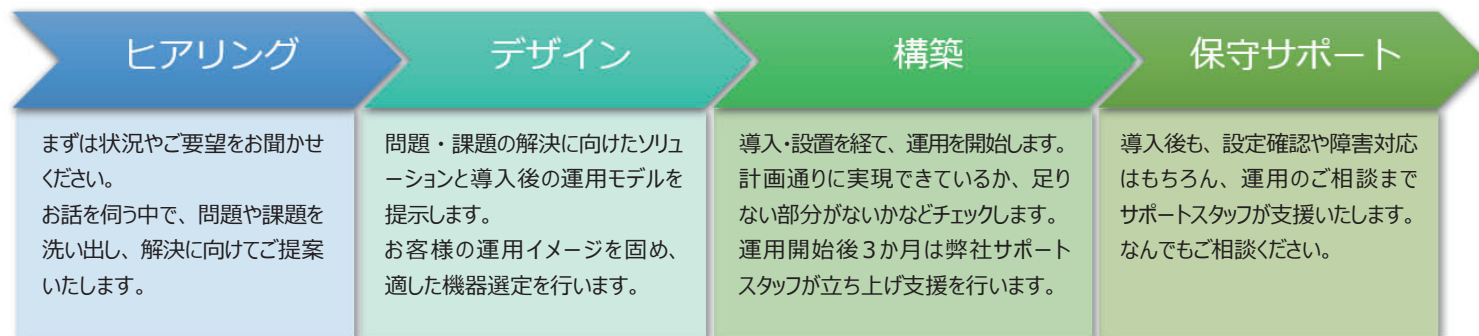
カメラ・マイク一体型モデル



オールインワンモデル

VTVジャパンのZoom Rooms導入支援サービス

導入までのステップ



全製品に保守サポートが付帯

VTVジャパンが提供するZoom Rooms製品には、弊社コールセンターが利用できる保守サポートが付帯します。
オンライン会議サポート経験5年以上の専任スタッフが、導入後の“こんなはずではなかった”がないように、お客様のオンライン会議の運用を支援いたします。



コールサポートの内容について

- ・操作および設定に関する問い合わせ対応
- ・技術的問い合わせ、運用に関する問い合わせ対応
- ・問い合わせ時間：平日 午前9:00～午後5:30
※土曜日、日曜日、祝日、年末年始等弊社が定める休日を除きます。

コールサポートと合わせて故障時機器交換・故障時の代替機貸出、オンサイト保守を追加することができます。



REPLACEMENT



LOAN UNIT



ON-SITE

東京・大阪のショールームでデモンストレーションを実施中!

デモのご予約や、導入のご相談はWebサイト、またはお電話で!

東京: 03-5210-5021

大阪: 06-4706-3930

VTV デモ



Extreme Networks株式会社様

オンライン会議システムの全社統一を機にAV機器をリプレイス
品質改善とサポート加入でIT専任担当のいない拠点でも良好な会議環境継続を実現

システム導入の経緯や選定のポイントについてExtreme Networks株式会社 システムエンジニアリング部の韓 斌氏に伺いました。

※本事例は2024年9月に公開されました。内容はすべて取材当時のものです。

Extreme Networks株式会社
システムエンジニアリング部
韓 斌 氏

お客様プロフィール

Extreme Networks株式会社様は、デバイス、アプリケーションさらに人々をつなぐサービスを提供するクラウドネットワークのリーダーとして、機械学習、人工知能、アナリティクス、自動化を活用して、テクノロジーの可能性を広げます。全世界50,000社のお客様にエンドツーエンドのクラウド主導型ネットワークソリューションを提供し、デジタルトランスフォーメーションを加速し、かつてない進歩を実現するために、トップクラスのサービスとサポートを提供しています。

本社：東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル11F

設立：1993年

URL：<https://jp.extremenetworks.com/>



導入の背景：会議室システムの全社統一が決定。AV機器リプレイスの相談先が必要に

Extreme Networks株式会社様は、アメリカに本社を持つネットワークインフラ機器の設計・開発・製造のほか、関連ソフトウェア開発も行うNASDAQ上場のグローバルネットワーク企業です。日本法人は1993年に設立され、コンピューター・ネットワーク・システムを構成・接続するハードウェア製品の販売、据付及びメンテナンス並びにそのソフトウェア製品の販売及び使用許諾を通じて、各種のビジネスニーズに応えています。

同社では海外拠点とのやり取りで以前よりオンライン会議システムを利用していましたが、コロナ禍以降、顧客やパートナーともオンライン会議を行う機会が増えました。相手に合わせてMicrosoft TeamsやZoom、Webexといったさまざまなオンライン会議ツールに対応していました。会議室にはもともと音響システムがあったのですが、以前トラブルが発生したため、以降は会議室に持ち込んだPCをWebカメラやマイクスピーカーで拡張して会議を行っていました。しかしこれらの

外部デバイスで拡張したものの、映像が見切れてしまったり、音が悪かったりとユーザーからは品質面で不満の声があがっていました。顧客との大切な会議やパートナー向けトレーニングなどを映像音声の品質が悪い状況で行うと、却って商談に悪影響なのではないかといった意見もありました。

2024年2月にアメリカ本社のIT管理部門より、会議ツールの統一を目的にZoom Rooms導入、AV機器のリプレイスを指示されました。Zoom Roomsはお客様の取り扱い製品内で用意することができますが、AV機器については製品・設置に詳しい相談先が必要になりました。

日本法人にはIT部門がなくIT機器導入担当者もいないため、プリセールスの立場ながら今回のリプレイスを引き受けた韓氏は、AV機器の購入元の条件として導入後のサポートも含めて頼れる相談先が欲しいと考えていました。また、すでに稼働開始日が決定していたため、可能な限り早く会議室構築を完成させる必要もありました。

現地調査を実施した上で機器選定とご提案、在庫確保を迅速に実施

導入に関する同社の要望をまとめた韓氏は、本社IT部門から紹介された日本国内ベンダーの1社であったVTVジャパンに問い合わせました。

ご相談を受けた担当営業は、まず本社IT部門側の指示内容と、同社のオンライン会議の利用状況をお伺いしました。AV機器のリプレイス対象となっていた2つの会議室には、本社からはシーリングマイクとPTZカメラを導入するように指示が出ていました。重要会議や商談が行われるボードルームとパートナー企業向けのセミナーなどを開催するトレーニングルーム、両会議室ともどの席にいても明瞭な音のやり取りができる必要があります。担当営業はZoom RoomsのPCにソフトウェアオーディオプロセッサーを導入することで、シンプルな構成ながら

高性能な音響環境が構築できるShure社のシーリングマイクMXA920を選定しました。この組み合わせなら会議室の広さやレイアウトに合わせて調整することで、どの席から発言してもしっかりと声を届けることができます。こちらは導入後に韓氏から「Shureの製品は品質がいいですね」と言っていただけのクオリティを実現しています。また、スピーカーも、マイク同様に天井にすっきりと設置できるKRAMER社のGalil4-Cをご提案しました。

カメラについては、AVer社のCAM520 Pro2が本社IT部門からの提案依頼書に指定されていました。設置位置についても床120cmの高さに設置するようにとの記載がありましたが、要件通りに設置しようとするとディスプレイの横に設置するしかありません。それよりは自然に

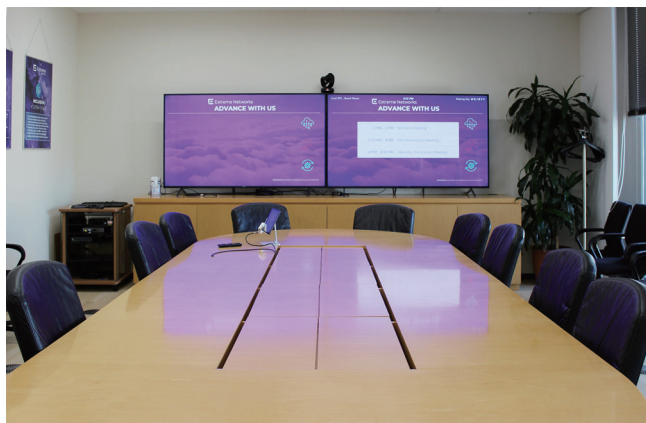
オンライン会議設備・Zoom Rooms導入事例

目線が集まるディスプレイの中央に設置する方がコミュニケーションがとりやすいと判断し、お客様にご提案しました。

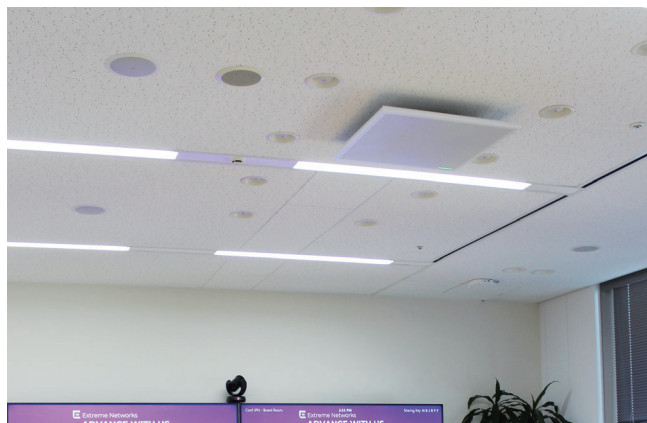
また、日本法人にはIT部門がないことや本社より保守サポート加入が必須との指示を受けていたことから、弊社はお客様の状況に合わせた保守サービスをご提案しました。会議室内のオンライン会議用機材のことを一括してご相談いただけるように、弊社が納品するAV機器だけではなく自社で導入されたZoom Roomsについても、弊社コール

センターで障害を切り分け、必要に応じてメーカーのサポートへ引継ぎを行うなど、弊社が保守の一時受付窓口を務める保守メニューを組みました。

納期を急がれていたこともあり、上記のご提案内容と見積もりを迅速にまとめ、ご提案機種の在庫確認まで行った上でご回答したところ、弊社からの導入が決まりました。



目線を合わせるためにカメラはディスプレイの間に設置



Shure社のシーリングマイクはどの席の参加者の声もきちんと集音



トレーニングルームの前面には参加者の様子を撮るカメラを設置



後ろには講師を撮影するカメラを。シーリングマイクで最後尾の参加者の声も届く

導入効果と今後の展開

導入決定から約1か月という短期間で、AV機器の設置調整を終えて無事運用を開始することができました。

導入後の感想を伺ったところ、リプレイ後はオンライン会議のトラブル自体が減ったとのことでした。また、「参加者全員が映るようになったこと」や「トレーニングルームの後ろの席の人まできちんと声が聞こえるようになったこと」をあげられ、映像音声の品質が狙い通りに改善できたことを評価いただきました。社内のユーザーからは、「新しい環境は講師だけでなく会場の参加者の様子も配信できるようになり、オンラインでの参加者にも臨場感が伝えられるようになった」と好評です。

また、映像音声が改善したことで、アメリカ本社からの社長メッセージなどは自分の机からPCで参加していた社員が会議室に集合するようになり、みんなで一緒に聞くようになったそうです。以前と比べてオンラインでもオフラインでもコミュニケーションが活性化したと感じていらっしゃるようです。

韓氏に弊社から導入いただいた理由をお伺いしました。「ひとつはこちらから希望した納期に应运えてくれたことです。いくつかの

ベンダーに問い合わせしましたが、他社はこの短期間での機器調達は難しいとの回答でした。もうひとつは提案書や見積書の回答が早く、しかも丁寧であったことです。自分もセールスをしています、一番大事なことだと思います」

また、今後弊社に期待したいことについてお尋ねしたところ、最新情報の提供をあげられました。同社はPC周りについてはプロフェッショナルですが、AV機器やオンライン会議については情報がとりづらいとのことでした。弊社では商談経験で得た知見、メーカーの製品・サービスの最新情報などを社内でも共有し、ホームページやメール配信、セミナーなどを通して定期的に情報発信をしています。今後もお客様にとって有益な情報を継続的に提供していく予定です。

また、現在、ZoomからTeamsへツールの移行を計画されているそうです。弊社はMicrosoft Teams Roomsの導入やサポートについても実績があり、必要な最新情報を提供することが可能です。

今後もより良いオンライン会議環境で運用できるよう、引き続きサポートしてまいります。

Zoom Rooms導入事例

メーカー保証期間終了を機に他メーカーへリプレイス
専用機ユーザーの実体験から最適なZoom Roomの運用環境を実現

User Profile

発電設備会社様

事業内容：発電関連設備の工事・運転・保守

導入年月：2023年3月

発電設備会社様は、以前よりモニターにカメラやマイク、スピーカーが搭載された一体型のZoom Roomsを全拠点で利用されていました。既存のZoom Roomsはバージョン更新に関するトラブルがあったことと、システムのメーカー保証年数が3年と短かったことから、既存システムのメーカー保証期間満了を機に保証年数が高いメーカーのZoom Roomsにリプレイスを検討することになりました。

既存のZoom Roomsの機能や品質自体には特に不満もなく、社内

ユーザーは一体型の専用機に慣れていたこともあり、同社では次に導入するシステムも既存の運用に近いもので、かつメーカー保証の対応年数が5年の製品を探していました。モニター一体型のZoom Roomsが少ない中、Lenovoの製品はモニターは別途用意する必要はあるものの、タッチスクリーンに対応していることやメーカー保証年数など、希望する要件を満たしていると判断し、問い合わせを行いました。

既存Zoom Roomsから見てきた課題と問題から、より使いやすいソリューションを提案

同社の相談を受けたVTVジャパンは早速ヒアリングを行いました。当初は既存システム同様に、操作はタッチスクリーンで行うことを希望されていました。しかし一部のユーザーは、操作のたびにモニターまで移動しなければならず不便さを感じていることが判りました。

そこでどちらの方法でも操作できるように、操作用タッチパネルを用意した上でモニターもタッチスクリーンに対応させ、2つの操作方法を配線で切り替える運用を提案しました。

また、LenovoのZoom Rooms(専用PCとタッチパネル、カメラ、マイク、スピーカーが同梱)とモニターの一式をディスプレイスタンドにのせることで、既存システムのような一体型のシステムとして利用することができます。モニターは大型を希望されていましたが、既存のモニタースタンドではモニターが大きすぎてカメラなどの周辺機器を設置するための金具が利用できないため、モニタースタンドは大型モニターにも周辺機器が取り付けられるよう特注することにしました。併せてモニターの背面に専用PCを取り付ける仕様にする事でユーザーがケーブルを抜き差し

できなくなり、不要なトラブルを回避できるよう配慮しました。

Lenovo製品の保守は当初の希望通り5年契約に対応しており、Zoom RoomsやモニターをLenovoで統一することで、安心して長く製品を利用したいという同社の要望にも適していました。



メーカーが変わっても基本の使い勝手は変わらず、スムーズな移行を実現

これらの提案を受け、同社で検討を重ね導入が決まりました。既存システムのメーカーを変えたリプレイスでしたが、操作感に大きな変わりはないことからスムーズな移行に成功しました。

「同じZoom Roomsへのリプレイスということもあり、UIなども変わらないためユーザーは抵抗なく利用できています。不具合やトラブルなどがあるとユーザーから改善依頼がきますが、今回の導入後は改善依頼はきていないので、うまく利用できているのだと思います」とご担当者からお話いただきました。

同社は今回のリプレイスでモニターを含めてZoom Roomsの5年間メーカー保証とVTVジャパンの保守サービスを契約され、Zoomライセンスの契約も弊社へ変更いただきました。今後は弊社サポートチームが同社のZoom会議環境と運用をトータルで支援してまいります。



◀ 会議室向け専用機 Zoom Rooms
Lenovo ThinkSmart Core
Full Room Kit for Zoom Rooms



▲ タッチスクリーンモニター
Lenovo ThinkVision



▲ ディスプレイスタンド
一ノ坪製作所 TCDS-IC100N

Zoom Rooms導入事例

ニーズの異なる会議室にメーカーにこだわらず会議室毎に最適なシステムを導入
保守加入で距離を感じさせないサポートを継続

User Profile

保証会社様

事業内容：不動産系保証事業

導入年月：2022年8月

東京と九州の両本社制を取る保証会社様では、テレビ会議専用機を使った遠隔会議が日常的に行われていました。しかし新型コロナウイルスの影響でZoomが同社のメインツールになり、以前のテレビ会議専用機は互換性がないため利用できなくなりました。会議室からZoomの会議に参加する場合はマイクスピーカーとカメラでPCを拡張していたものの、テレビ会議専用機の利用に慣れていた社員からは、映像・音声が悪く、使い勝手が悪いと改善要望が相次いでいました。

以前からVTVジャパンより情報収集を行っていたご担当者は、Zoomにも会議室向けの専用機「Zoom Rooms」があることをご存じでした。しかし九州本社に常勤しているため、なかなか実機を見る機会がなかったのですが、VTVジャパンがZoom Roomsのウェビナーを開催することを知り、早速参加することにしました。ウェビナーでZoom Roomsのデモンストレーションをみて手ごたえを感じたご担当者は、2022年6月、Zoom Roomsの導入検討を本格的に開始しました。

利用頻度の高い会議室から導入検討を開始

利用者から最も不満が上がっていたのは、利用頻度が一番高い定員6名程度の東京の一般会議室でした。接続先からも特にこの会議室の音が悪くと言われており、VTVジャパンの担当が現地調査に伺ったところ、利用中のマイクスピーカーでは、スペック不足で参加者の声が十分に拾えていないことが分かりました。

また、参加者を映す外部カメラとして用意されたハンディカムも会議室が狭いため、発言者を映すためにはたびたびカメラ操作をしなければならず、参加者が会議に集中できない状況でした。

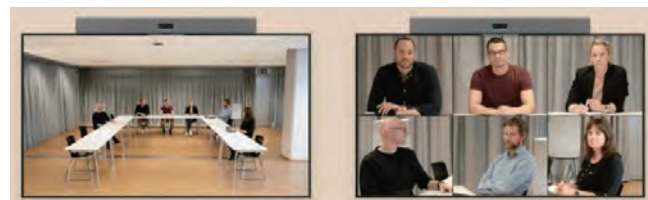
- ・ 映像・音声のクオリティを改善したい
- ・ 会議中にカメラ操作をしたくない

この2点のご要望を叶える専用機として、Zoom Roomsに対応する「Neat Bar Pro」をご提案しました。

Neat Bar Proはカメラ・マイク・スピーカーが一体化したバー型モデルで、小規模スペースでも場所を取りません。また、Neat Symmetryというメーカーの独自機能で、室内の参加者をAIが感知して参加者一人一人を

クローズアップします。ディスカッション形式での会議が多い一般会議室では、誰が話しているかわからないなど接続先から不満も出ていましたが、これなら会議中にカメラ操作に気を取られることなく、全員が会議に集中することができます。

実際の会議室にNeat Bar Proを持ち込んでデモを行ったところ、映像はもちろん音声がかなり改善されること、会議中はほぼ操作の必要ないことをご確認いただき、Neat Bar Proの導入が決定しました。



リモートからの参加者にも好評なNeat Symmetry

メーカーにこだわらず、会議運用に必要な機能を重視した製品を選択

利用頻度が高い一般会議室のZoom Roomsの本格稼働が始まり、音声が格段に良くなってストレスがなくなったと他の拠点の参加メンバーからの評判も上々でした。

これを受けて東京の大規模会議室と両本社の役員会議室への導入計画が開始しました。しかし、これらの会議室では主に重要会議が開催されるとのことで前回の会議室とは異なるご要望をいただきました。

- ・ 映像・音声のクオリティを改善したい
- ・ 発言者が限られるため、話者追尾カメラを利用したい
- ・ セミナーで利用することもありレイアウト変更への対応が必須

そこで前回とはメーカーは異なるものの、精度の高い話者追尾機能を持つカメラが搭載された、Yealink社のZVC860をご提案しました。一体型と違って必要な周辺機器を選べるモデルであるため、レイアウト変更や参加者の着座位置にも自由に対応することができます。また、レイアウト変更時にシステムを適切な位置に移動できるようにカートに載せた構成を考えました。持ち込みデモを経て無事採用されました。

弊社ではZoom社認定メーカー各社の製品を取り扱っており、それぞれ導入実績もあり、異なるメーカーの組み合わせでご提案が可能です。
*Zoom Roomsのインターフェースは全メーカー共通のため、メーカーが異なっても操作感に大きな違いはありません。



導入後も運用環境の最適化をサポート

3つの会議室への導入も無事終わり、話者追尾カメラの精度もかなり高いと好評です。今後は各営業拠点の会議室への導入検討が予定されています。コールサポートと代替機貸出サービスのついた運用サポート

にもご加入いただき、九州のご担当者とは距離は離れていますが、今後もオンライン会議などを活用しながら、距離を感じさせない手厚いサポートを行ってまいります。

Zoom Rooms導入事例

3画面利用で臨場感ある常時接続環境をZoom Roomsで構築
近接を活かしたスピード感あふれる経営を実現

User Profile

外資系開発会社様

事業内容：サービス開発

導入年月：2024年2月

シンガポールに本社のある外資系開発会社様は、世界各国に拠点があり、社員がそれぞれのオフィス及び在宅にて勤務しています。同社の代表は社内の標準オンライン会議ツールであるZoomを使って常時接続を行い、頻繁に各拠点の社員とやり取りをしていました。しかし、映像・音声のクオリティに不満があることや画面が小さく臨場感に欠ける点から、常時接続の環境を整え、さらにコミュニケーションを密にしてビジネスのスピードをあげたいと考えていました。日本拠点に滞在することが多く、社長室にいながら全ての社員の様子が常になり、

アイデアが浮かんだらすぐ意見交換ができるような環境があればいいと思い立ち情報収集を開始したところ、VTVジャパンサイトの製品紹介ページで3画面モニターを接続できるZoom Roomsの紹介記事を見つけました。

大きなモニターを複数台使えば各オフィスの様子や社員の表情がもっと情報として伝わると考えた代表は、理想に近いこの製品の詳細と価格感を確認するためにVTVジャパンへ問い合わせをしました。

導入までのスピード感と持ち込みデモ、導入後の支援メニューを評価

早速担当がヒアリングを行ったところ、同社の要件は明確でした。

- ・ まずは4拠点のオフィスを常時接続したい
- ・ 1つの拠点をできるだけ大きく表示したい
- ・ 資料共有がスムーズにでき、資料も大画面で表示したい
- ・ とにかく導入を急ぎたい

Zoom Rooms対応製品の中で3画面接続に対応できるメーカーは何社ありましたが、設定が簡単なAndroidベースで、カメラ・マイク・スピーカーが一体化したバー型モデルが取り扱いやすそうだという理由で、Neat社のNeat Bar Proが導入機器として選定されました。その上で常時接続のための設定や構築方法の検討を開始しました。

常時接続を行う上で有効なZoomとZoom Roomsの機能を調べたところ、同社が利用しているGoogleカレンダーと連携させれば、自動接続・切断を設定して効率よく運用できることがわかりました。また、代表のPC画面を超音波近接信号を利用し、無線で資料を共有できる操作方法や、共有した資料が1画面で大きく表示できる設定の確認を行いました。

とにかく導入を急ぎたいとご希望されていましたが、やりたいことがきちんとできるか確認し、導入前に運用のイメージを固めることが大事である旨をご説明し、同社に適した常時接続の運用を実現するためのご提案と、その提案内容が要望を満たしているかを確認するための実機による持ち込みデモを実施しました。お客様環境下でのデモは、担当営業

がいつも大事にしている工程です。デモを行わずに導入すると、思った通りに運用できないなど想定外のトラブルが起こる場合もあるため、必ずお客様には実施いただいています。デモの結果、お客様の想定通りに運用できることがわかり、安心して導入をすすめることができました。

担当営業による一連の対応とレスポンスの速さ、導入後の支援メニューが提供できる点が評価され、お問い合わせから約1か月という短期間で導入が決まりました。



Neat Bar Proの3画面表示のイメージ

ビジネスのスピードアップに常時接続は有効

運用開始にあたり、すぐに使いこなしたいという同社のご要望を受けて、ご提案したGoogleカレンダー連携の方法や今回の利用に必要な管理画面の設定方法、操作手順などをまとめたマニュアルを作成してお渡ししました。お客様は早速、この常時接続を使って世界各国のオフィスとコミュニケーションを取っています。



担当営業が同社を訪問した際に、代表が思いついたアイデアを即資料共有を行って各オフィスの担当に話し、その場でディスカッションが行われて決定されていく様子に、スピード感あふれる経営とはこういうことだと実感したと言います。

お客様は今回、システム障害やちょっとした操作確認などのご相談ができるようにコールサポートと代替機貸出サービスにご加入いただいております。

今後は日本国内の別のオフィスを常時接続に追加し、将来的には在宅社員との常時接続も検討したいとのことで、引き続き同社のサポートを行っていく予定です。